

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

桜餅について

桜餅の葉はオオシマザクラの葉が使用されています。オオシマザクラの葉を摘み取りやすいように、人の背丈ほどに仕立てたオオシマザクラの若葉を摘み取って、半年位塩漬けにして使うのです。(塩漬けにしないと香りが出ない)香りのもとにはクマリンという物質です。生の葉では桜餅の香りはいしません。

塩漬けにされている間にクマリンについていた糖がはずれて、クマリンとなって桜餅の香りがしてくるのです。種類の多い桜の中でも、特にオオシマザクラが桜餅に使われるのは、この成分が多く含まれていて香りの良い葉となるからです。

クマリンには抗菌性があり、桜餅の保存に役立っています。

自然の恵みをもう一度考えてはいかがでしょうか。なお、京急線富岡駅近くの和菓子の店(横浜 紅谷)店では桜餅を正月から3月ごろまで販売しているとの話を聞いてきました次第です。



オオシマザクラ



オオシマザクラの葉

1. 11月運営会以降の活動実績

11月16日(土)	17名	本窯炭材装入、炭小屋裏倒木処理
11月20日(水)	12名	センターへの薪運搬、炭焼き準備
11月23日(土)	12名	本窯・ドラム缶窯炭焼き、ZEC 通信
11月24日(日)	5名	本窯炭焼き二日目
11月28日(水)	6名	炭焼き後片付け
11月30日(土)	17名	本窯・ドラム缶窯炭出し、廃棄物分別、炭小屋屋根修理
12月 4日(水)	13名	炭小屋裏倒木処理材引き上げ、炭小屋屋根修理
12月 7日(土)	8名	木工など
12月11日(水)	16名	炭小屋屋根補修、炭小屋裏土砂崩れ処理、木工

2. 連絡、確認、提案

①会計進捗報告(星隈)

支出 屋根補修材 35,890+ α 炭焼き用食材 12,129 現在残高 337,807

②炭焼き報告(谷垣さん、片岡さん)

①ドラム缶炭焼き報告

当日の天候 雨 気温8°C

炭材 シラカシとアベマキ 断面 3×5cm 長さ 24cm 含水率 42%(中央値)

1窯 62.6kg 2窯 63.9kg

炭焼時間 1窯 8時間 2窯 11時間半 火入れ 9時42分(着火に時間がかかった)

温度経過状況 条件の良かった炭焼きを参考にしておこなった 経緯については省略

結果 収炭率 1窯 10.7% 2窯 14.7% 未炭 1窯 1.2kg 2窯 0

結果の考察 1窯は焚口と煙突出口付近が燃えていた 温度のばらつきがある

2窯は焚口付近が燃えていた 焼きすぎの状況だった 温度は安定していた

炭焼き後の四日後の温度 1窯 8.7°C 2窯 29.7°C

1窯は窯を密閉した後、隙間から煙が出た。検討の余地あり

1窯の煙突付近が燃えているのは熱がそのまま煙突付近に集中したためではないか
土が乾燥している状態からもわかるとの意見あり

②本窯の炭焼報告

炭材 クヌギ アベマキ主体 長さ80cm 上げ木を多く詰め込んだ 454kg

経緯 上げ木に着火 13時 翌日16:00に炭焼き出口温度が97°Cに達しないままねらしに入り、
窯内温度が600°Cに達して、密閉した

結果 上炭 36.0kg 中炭 11.4kg ぐず炭 2.9kg 合計 50.3kg 未炭 67.5kg

結果は不出来であった

未炭が多い原因 伐倒から炭材作りまでの時間が短く、含水量の多い炭材だった

炭焼き時間が十分でなかった 加熱量が足りなかった

窯の奥の方はほとんど火が回っていない 窯の中の温度が全体的に低かったのが原因

今後の検討課題 伐倒から炭材作りまでの期間を2か月から2か月半取る必要がある

炭材の含水量が高いことを考慮して、窯内の温度をもっと上げてよかつたのではないか
それによって未炭が減ることが考えられる

今回の結果でよかったこと

窯内の補修を行った結果、密閉が良くなり断熱効果がよくてたのではないか

温度調整をほとんど行う必要がなかった 現実の炭焼と同じ状態で行われた(池澤さんコメント)

意見 ・送風機の風量が多いため、熱が上に逃げてしまったのではないか

回答 風を送り込むのは上げ木の着火を促進するためで、その着火はうまくいった

・低温で窯全体の湿気をとることによって未炭が少なくなるのではないか

回答 物の本にはそのようなやり方も記載されているが、それには時間との制約があるので難しい、
今まで行ったことはない、

③友の会望年会(12月22日)について/最終確認(吉田さん)

紙皿 90枚 おたま 1個購入 もち米については中塚さんに入れてもらってある

焼きいも用のまきとしめ縄はかま取りを行う

- ④ 2月1日 CSR 支援について(掛下チーフ)
アペックスのCSR ヤマモモの伐倒 雨天の場合は来週に延期
スタッフは1月の運営会で決める
- ⑤ 2月15日 間伐体験について(小島)
1月初めより募集をかける 間伐体験のチラシを早めに送付する
スタッフについては1月の運営会で決定
- ⑥ その他
来年の役員の募集を行う

3. 12. 1月の活動予定

- 12月14日(土) くぬぎ林伐倒(葉枯らし)および玉切り材搬入 炭小屋裏製材用杉材2本搬入
運営会 ZFC忘年会
- 12月18日(水) 炭小屋作業 くぬぎ林平面の草刈り(残りの部分) 製材
- 12月21日(土) 炭小屋裏倒木処理(引き上げなども含む) 製材(チェーンソー 11時以降使用)
しめ縄づくり 小屋整理 ZFC通信印刷発送
- 12月22日(日) 友の会望年会 のち納会
- 1月 8日(水) 炭小屋作業 活動始め SF準備
- 1月11日(土) くぬぎ林伐倒(葉枯らし)および玉切り材搬入 SF準備
- 1月15日(水) 炭小屋作業 炭小屋裏倒木材引き上げ SF準備
- 1月18日(土) くぬぎ林斜面草刈および折れ枝処理 運営会
- 1月22日(水) 炭小屋作業 炭小屋裏倒木材引き上げ
- 1月25日(土) ZFC通信印刷発送 炭小屋裏倒木材処理 SF準備
- 1月29日(水) 炭小屋作業 炭小屋裏倒木材引き上げ SF準備

(文責 星隈 小島)